

## 2010 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	JASS 5 N 改定小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (鉄筋コンクリート運営委員会)	
設置期間	2010 年 4 月 ～ 2012 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>(設置目的) 原子力発電所施設 RC 工事標準仕様書 JASS5N は、前回 2001 年の改定から 11 年が経過し、この間 2009 年に JASS5 が改定されており、技術の進歩や社会情勢の変化に呼応して改定すべき時機がきている。特に、近年は改修工事をはじめとする小規模工事が増加し、対応が必要になっている。2007～2009 年度にかけて電力委託の研究小委員会が設置され、品質保証体系、高流動コンクリート、再生コンクリートに関する研究が行われた。今回の改定では、これらの成果を踏まえて、新たに改定小委員会を設置して改定作業を行うものである。</p> <p>(各年度活動計画) 2010～2011 年度の 2 カ年で改定作業を行う。2010 年度は本文改定案の検討、2011 年度は解説案の検討を行う。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：なし</p> <p>梶田佳寛 (宇都宮大学)、阿部道彦 (工学院大学)、早川光敬 (東京工芸大学)、伏見実 (関西電力)、橋高義典 (首都大東京)、野口貴文 (東京大学)、杉山央 (宇都宮大学)、棚野博之 (国土交通省)、野中則彦 (経済産業省)、山崎庸行 (清水建設)、一瀬賢一 (大林組)、桜本文敏 (鹿島建設)、陣内浩 (大成建設)、三井健郎 (竹中工務店)、中村和行 (東京電力)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	品質・調合 WG、材料 WG、製造・施工 WG、鉄筋 WG を設置し、各々該当する節の検討を行う。	
2007 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：

項目	自己評価
委員会開催数	3 回 (2010 年度)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	着実に進んでいる。
委員会活動の問題点・課題	原子力施設のコンクリート工事に精通した学識経験者が少なくなり、委員の人選が困難である。

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。